

企画展

★みなさまへお願い★

入館時は、検温、手指の消毒、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。
また、入場制限を行う場合もあります。

聖徳太子の時代と八尾



じょりこうんと愛宕塚古墳の石室

ミュージアムトーク ★事前申込が必要です★

- ・11月7日(日) 13時~14時「聖徳太子の時代の八尾の遺跡」
担当：樋口めぐみ(当館学芸員) 申込：10月15日(金)~
- ・12月5日(日) 13時~14時「大聖勝軍寺の歴史」
担当：小谷利明(当館館長) 申込：11月15日(月)~
各回定員・申込先着順 16名(電話・FAXにて受付)
当日は「資料館へ行こう!」で観覧料は無料です。

聖徳太子1400年プロジェクト
八尾聖徳太子と物部守屋

【資料館歴史講座—聖徳太子の時代と八尾—】

- ①10月30日(土)「河内愛宕塚古墳と聖徳太子の時代」
森本 徹氏 (公財)大阪府文化財センター
- ③11月28日(日)「厩戸皇子の人物像」
竹本 晃氏 大阪大谷大学准教授

- ②11月20日(土)「聖徳太子と親鸞」
今堀太逸氏 佛教大学名誉教授

※各講座とも事前申込が必要です。
定員 24名(申込先着順)

- ①10月1日(金)~、②・③11月1日(月)~

会期：令和3年 10月23日(土)~12月13日(月)

休館日：火曜日、(11月23日(祝・火)は開館)
11月4日(木)、11月24日(水)

開館時間：9時~17時(入館は16時30分まで)

観覧料：大人220円、大学生・高校生110円
団体20名以上は半額

減免：中学生以下、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者
保健福祉手帳の所持者及びその介助者、並びに学校園行事の引率者は無料



詳しくは資料館
ホームページへ!

主催 指定管理者公益財団法人八尾市文化財調査研究会

八尾市立歴史民俗資料館

〒581-0862 大阪府八尾市千塚3丁目180-1

TEL:072-941-3601 FAX:072-941-6193

ホームページ <http://www17.plala.or.jp/yaorekimin/> E-mail yao-muse@white.plala.or.jp



近鉄信貴線服部川駅下車
北へ徒歩8分

^{しょうとくだいし} 聖徳太子が活躍した 6 世紀後半から 7 世紀にかけての時代は、八尾の東部山麓^{とうぶさんろく}に数多くの古墳が築かれました。その時代から 1400 年過ぎた現在でも、330 基以上の古墳が現存しています。そのなかでもひととき大きな石室を持つ愛宕塚古墳は、聖徳太子・蘇我氏^{あたらごつかいふん}と戦って敗れた豪族物部氏^{そがし}に関連する古墳の可能性があります。

加えて、河内国^{しづなわぐん}茨川郡は、物部氏の本拠地のひとつで、市内には関連する遺跡・史跡が残されています。

本展では、聖徳太子没後 1400 年を記念し、聖徳太子が活躍した 6 世紀後半から 7 世紀の八尾について紹介するとともに、後世にくりかえし伝承されてきた聖徳太子と物部守屋の世界を紹介します。



愛宕塚古墳出土(大阪府指定文化財) 鉄地金銅張馬具 須恵器 高杯と蓋



土師器 広口壺
：大阪府教育委員会蔵



八尾市指定文化財 絹本着色聖徳太子・親鸞・存如連座像(摸) 原品 慈願寺蔵



錦絵 聖徳太子物部守屋誅伐図 一勇斎国芳画 館蔵

【主な出品資料】

日本書紀、聖徳太子伝暦、聖徳太子伝図会、大聖勝軍寺聖徳太子絵伝の当館作成模型、角田家文書大聖勝軍寺関係文書 館蔵

愛宕塚古墳出土資料(須恵器、土師器、鉄地金銅張馬具類、銀象嵌鞘金具、搦じり環頭、三輪玉、ガラス玉など) 大阪府指定文化財) 大阪府教育委員会蔵

矢作遺跡出土資料(土師器、銅鏡など) 館蔵

太子堂遺跡出土資料(須恵器、土師器など) 八尾市蔵

茨川廃寺出土資料(軒丸瓦、軒平瓦、須恵器、土師器など) 八尾市蔵



メルマガ配信中!

八尾市立歴史民俗資料館